

7月の各種相談

母子家庭相談（予約が必要）
 日時 7月11日(水)、26日(木)
 10:00～16:00
 場所・申込み 福祉グループ

主任児童委員による子育て相談
 日時 7月23日(月) 13:30～16:00
 場所 福祉しあわせセンター

子育て相談（事前問合せ必要）
 両施設で来所相談を行っています。
 (祝日除く)
 ◎北部子育て支援センター
 日時 毎週月～土曜日
 10:00～16:00
 電話相談・問合せ
 ☎078(944)0717

◎南部子育て支援センター
 日時 毎週月～土曜日
 10:00～16:00
 電話相談・問合せ
 ☎079(437)4188

臨床心理士による子育て相談
 予約が必要です。
 ◎北部子育て支援センター
 日時 7月4日(水) 13:30～15:30
 申込み・問合せ
 ☎078(944)0717

◎南部子育て支援センター
 日時 7月11日(水) 13:30～15:30
 申込み・問合せ
 ☎079(437)4188

子どもの悩み相談
 日時 毎週月～金曜日
 9:00～16:00
 場所 役場第2庁舎3階
 ふれあいルーム(電話可)
 ☎079(437)4141

心配ごと相談
 日時 毎週火曜日(祝日除く)
 13:00～16:00
 場所 福祉しあわせセンター

困りごと相談
 日時 7月12日(木)、26日(木)
 13:00～15:00
 場所 福祉しあわせセンター

人権相談（常設相談）
 日時 毎週月～金曜日(祝日除く)
 8:30～17:15
 場所 神戸地方方法務局加古川支局
 ☎0570(003)110
 (全国共通ナビダイヤル)

地域ふれあい介護相談
 日時 7月15日(日) 10:00～12:00
 場所 CHIAKIほうずき播磨
 (東野添2丁目18番6号)
 問合せ CHIAKIほうずき播磨
 ☎078(949)1566

福祉相談
 日時 毎週水曜日(祝日除く)
 13:30～16:00
 場所 福祉しあわせセンター

知的障がい者（児）相談
 日時 毎月第2土曜日 10:00～11:30
 場所 石ヶ池公園パークセンター

身体障がい者相談
 【相談員】(敬称略)
 政本 和子【古宮236番地の4】
 ☎・📠 079(437)0037
 ※☎・📠 はNPO法人アエノンにかかります。
 加藤 和子【北本荘1丁目3番13号】
 ☎・📠 079(437)6417

障がい福祉なんでも相談室
 場所 福祉しあわせセンター
 知的障害 毎週火曜日 10:00～12:00
 身体障害 毎週木曜日 10:00～12:00
 精神障害 毎週金曜日 10:00～12:00
 ※祝日を除きます。
 申込み 電話で予約が必要です
 ☎079(435)2361

行政相談
 日時 7月23日(月) 9:30～11:30
 場所 中央公民館

消費生活・多重債務相談
 日時 毎週月～金曜日(祝日除く)
 9:00～16:00
 場所 住民グループ
 ※月・木曜日は消費生活相談員が対応します。
 電話相談・問合せ
 ☎079(435)1999

司法書士による多重債務相談（予約が必要）
 日時 7月12日(木) 13:30～15:30
 場所 中央公民館
 申込み・問合せ
 消費生活相談コーナー
 ☎079(435)1999

納税と相談
 日時 毎月第4日曜日
 9:00～12:00、13:00～17:00
 場所 税務グループ(中央公民館側通口
 をご利用ください)

税務相談（予約が必要）
 日時 7月6日(金) 13:00～15:00
 場所 播磨町商工会館
 対象 商工業者
 申込み・問合せ 播磨町商工会
 ☎079(435)1630

税理士会の税務相談（予約が必要）
 日時 7月3日(火)、10日(火)、
 17日(火)、24日(火)、31日(火)
 13:15～16:00(受付)
 場所 加古川税理士会館
 (加古川税務署の北側)
 問合せ 近畿税理士会加古川支部
 ☎079(421)1144

法律相談（予約が必要）
 日時 7月3日(火)、17日(火)
 10:00～12:00
 7月9日(月)、23日(月)
 18:00～20:00
 場所・申込み 中央公民館
 (窓口での申込順。電話予約不可)



町制50周年を記念し、広報誌の紙面から 播磨町の50年をふりかえります。

第4回 昭和49年9月号



▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

播磨町公民館が完成したのは、昭和48年6月25日。現在の福祉会館の場所にあった旧役場庁舎を改装してのオープンでした。

翌年、昭和49年8月には、隣接する播磨小学校の校庭と公民館を会場として「第1回公民館フェスティバル」が盛大に開催されました。これが、後に「ふるさとまつり」となり、「播磨町夏まつり」「大中遺跡まつり」へと続いていきました。

播磨町に名物誕生か

金魚すくいに、ヨーヨー釣り、並んで買った綿菓子に、あの娘の浴衣もよかったなあ…。

楽しい思い出を多くの人に残して、公民館フェスティバルが終わった。公民館フェスティバルは、播磨町公民館の主宰で人口流入の激しい我町の新旧住民の交流と新しいふるさとづくりをとらえて開催されたものです。

今年初めての試みにもかかわらず五千人以上の参加者を集めた公民館では、毎年この様な催しを続けて、播磨町名物にしたいとはりきっています。

(中略)

17日の前夜祭は午後6時からでしたが、この時刻が近づくと浴衣がけ子供づれの人達があちこちから集まってくる。播磨小学校の校庭には、グ

ループリーダー(あめんぼー)、ヤング播磨、婦人会、子ども育成連絡協議会の方々の奉仕の夜店が立ちならぶ。ヨーヨー釣り、金魚すくい、綿菓子、アイスクリーム…、客引きの掛け声も勇ましい。ほんの昔前のお祭り風景がよみがえったという感じがする。

校庭に組まれたやぐらを中心に四方に提灯がつるさ、レコードの音がお祭り気分を盛り上げる。校庭のフェンスにびっしりと取り付けられた行灯に火がともり、輪をなして踊る人々がシルエットとして浮かび上がるお祭りは最高潮となりました。かつて播磨町において、一堂にこれ程の人が集まったことは、おそらくなかったでしょう。



ふれあいルーム 指導員 高桑 彰善

子どもの光応援隊

作家の遠藤周作さんは子どもの頃を回想し、常々「僕はチャランポランで出来の悪い少年だった」と語っている。

そして、そのことを物語るエピソードとして、国語の試験で「さむい、かなしい、…」の反対語を問われ、そのまま文字の順序を逆にして「いむさ、いしなか、…」と書いて、「今日の問題は全部できた!」と得意がっていたこと。

また、朝顔の種を庭に蒔いたとき、母から「水をやり続けねば必ず芽が出て花が咲く。だから毎日水をやりなさい」と言われ、その言葉どおりにしていたら、兄から「雨の日は水はやらなくてもいい」と教えられ、「兄はなんて頭がいいのか」と感心したことなどを挙げている。

こんな周作を母は、「あなたはだめね」と否定するのはなく、「今は成績が悪いけど、大器晩成なのよ」と励ましたり、雨の日にもカップを着て水をやり続けたいという我が子の愚直さを、子どもらしい純真で誠実な個性としていとおしんだという。

子育ては人生の種蒔き。急いで結果を求めないで、慌てずゆっくり。日々、子どもは親のぬくもりに包まれて成長していくはず。子どもの能力が開くときを楽しみに。それまでは、子どものペースに合わせて二人三脚。

子どもにとっての幸せは、明日を夢見ることの喜び。ランドセルわざとゆさゆさ一年生(朝日俳壇より)

ずっしりと重いランドセルの中には、未だ見ぬ彼方で輝こうとしている夢や希望の卵がまつまっているに違いない。私たちは、子どもの夢や希望に寄り添う、「子ども」の光応援隊でありたいものです。